

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY
名古屋
ちくさ
題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL 763-5110 FAX 763-5121
E-mail chikusa_rc@hkg.odn.ne.jp
会長 吉田 玄
幹事 福井 浩道
公共イメージ向上委員会 林 永芳

No. 34 ローター：変化をもたらす
ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

2017 ~ 2018 年度 RI会長
イアンH.S.ライズリー

今日の例会

第1684回 平成30年 5月 8日(火)
卓話：国際カラーコンサルタント・健康色彩研究家
Rainbow Flowers 代表 岩田 まゆか 様
『選んだ色には意味がある ~実例から読み解く
知られざる心理・生理とのつながり』

先回の例会

第1683回 平成30年 4月 22日(日) 晴
春季家族会
京都 石清水八幡宮
大山崎山荘美術館 サントリー山崎蒸留所

◆出席報告

正会員 36(28)名 出席 17名
名誉会員 1名
出席率(名誉会員除く) 60.70 %
前々回 4/9 (修正出席率) 90.32 %
ゲスト 米山奨学生 林世原さん
☆4/24 ビジター数 27名

福井幹事報告

1) 次回例会は5月8日(火) 通常例会です。

吉田会長挨拶



イム セウォンさん 今日は初出席で
家族会に当たってしまいました。ようこそ一緒頂きました。どうぞ一日楽しんで下さい。

さて、今日は多数の会員・家族の皆さんに本年度春の家族会へご参加頂き有難うございます。35名という丁度快適な人数になりました。ただ、訪問先が少ない割りに、少々無理な日程になってしまい申し訳ありません。碓氷親睦委員長、親睦委員会、事務局には細やかな配慮を頂き、無理なお願いを良い形にして頂きました。有難うございます。

先日、再来年の大河ドラマが明智光秀だと報道されていましたが、今日は光秀のクライマックスの舞台である山崎の合戦場跡にある大山崎山荘美術館とサントリー

山崎蒸留所、淀川を挟んでその向かい側の石清水八幡宮を訪ねます。石清水八幡宮も山崎の地も中世から近世にかけての歴史の宝庫です。合戦場の真ん中を通って行きますから、大河ドラマを見ながら今日の家族会を思い出して頂くとは難しいと思います。

今日は一日楽しくお過ごし頂ければこれに勝る喜びはありません。どうぞよろしくお祈りします。



「八幡造り」と呼ばれる神社の建築方法を用いた社殿は日本に4棟しかなく、中でも最古で最大のものが石清水八幡宮です。織田信長寄進の黄金の雨樋や、瓦と土を幾重にも重ねた信長塀、豊臣秀吉が造営した廻廊と幣殿、またエジソン記念碑など、今回 吉田会長の御息にご案内頂きました。



御本殿を囲む瑞籬には江戸時代の名工・左甚五郎作と言われる欄間彫刻が150点以上。西門の幕股部分に見られる猿の彫刻は左甚五郎作。とりわけ秀逸だったため魂が宿ってしまい夜になると幕股から抜け出して山麓の畑で悪さをしたが、猿の右目に竹の釘を打ちつけると猿の悪さが無くなったとの逸話が残っています。

「目貫の猿」↓



「松花堂弁当」の名の由来となった石清水八幡宮の社僧・松花堂昭乗。その松花堂庭園内の吉兆で昼食を頂きました。その後、アサヒビール大山崎山荘美術館とサントリー山崎蒸留所へ分かれての見学コース。

帰路、途中渋滞に巻き込まれながらも無事池下に到着。皆様お疲れ様でした。

帰路、途中渋滞に巻き込まれながらも無事池下に到着。皆様お疲れ様でした。

先々回の例会

第1682回 平成30年 4月17日(火) 晴
クラブフォーラム / 地区研修協議会報告

◆奉仕の理想

◆出席報告

正会員	36(31)名	出席	21名
名誉会員	1名		
出席率(名誉会員除く)			67.74%
前々回	3/27(修正出席率)		90.32%

福井幹事報告

- 1) 本日配布案内：5月例会予定
- 2) 本日例会終了後、現・次年度合同クラブアセンブリ一、引き続き理事役員会を3F「梅の間」で開催。
- 3) 次週は例会変更で22日(日)春季家族会です。ご参加の皆様は8:15には、池下の集合場所へお集り下さい。時間厳守をお願い致します
- 4) 次々週5月1日は休会、次回例会は5月8日です。

吉田会長挨拶



早いもので、今度の日曜日はもう春の家族会です。お陰様で35名という丁度動きやすい人数になりました。行程の、亀山JCTとか四日市とかは常時渋滞しますので、出発にご協力をお願い致します。私が神社の参拝にからむとどうしても服装にうるさくなって申

し訳無いのですが、昇殿参拝の時だけ、男性の方は上着ネクタイを着用頂けば結構です。本殿から出たらラフなスタイルで大丈夫ですから宜しく願います。女性もサンダル・Tシャツとかあまりくだけた方はいらっしやらないと思いますので、そう堅くお考え頂かなくても大丈夫です。

さて、本年2月(24日)、伊勢市が来年夏に伊勢神宮の(内宮)近くにイスラム教徒の礼拝場所をつくる、というニュースが流れました。イスラム圏からの観光客増加に対応するため、市の担当者は「礼拝場所を探す不自由なく、伊勢観光を楽しんでもらいたい」と話していたそうです。礼拝場所は、内宮や周辺の観光施設に近い観光案内所の一部を改修してつくり、約3メートル四方で、床に礼拝用マットを敷き、天井にはメッカの方向を示す表示をし、手足を清める洗い場も取り付けます。改修費用は、数百万円の見込みで、市内の公共施設への礼拝場所設置は初めてだが、礼拝に使わない時は、ムスリム以外の旅行者も授乳などで利用できるようなするという事でした。

この話しを聞いて私は複雑な思いに囚われました。従来、行政は極力宗教との接触を避けてきたからです。それが一気にイスラム教の礼拝所を市がつくるとききました。今度は行政が神社や寺の拝殿や本殿をつくってくれるかなと錯覚しました。ところが、直後から市や観光協会に電話・メールの苦情が100件以上寄せられ、ネット上でも炎上しました。結局、3月に入って、伊勢市はこの計画を断念したそうです。やっぱりなと思いましたが、行政も時々こういう脳天気な事をやらかします。

しかし、皆さんご承知の通り、昨今は国を挙げてインバウンド促進に力を入れています。特に昨年1月からは内閣府が、『歴史的資源を活用した観光まちづくりタスクフォース』という組織を立ち上げ、菅官房長官を議長として、国土交通大臣、地方創生大臣、農林水産大臣、民間専門家などを集め、内閣官房が中心になって観光まちづくりを推進しています。

やはり人は、旅ではその土地の歴史や伝統や独特の風土に触れたいと考えます。それは、全く違う文化やノスタルジーに引かれるという、人の持つ特性でもあります。ただ歴史的資源といえば、どこの国でもその国の伝統的宗教と関わりのないところはありません。ディズニーランドやUSJ、レゴランドは歴史的資源にはなりません。国がそういう方向に動き出すと、当然地方もそっちに動き出します。伊勢市の例もその象徴のような気がします。昨年、デービッド・アトキンソン氏に講演をして頂きましたが、氏もやはり社寺を資源とした観光政策を訴えています。愛知県の観光局は、武将観光・産業観光・寺社等を中心とした歴史まちづくり。名古屋市の観光文化交流局は、歴史まちづくり推進室を中心とした歴史まちづくりを行っています。どこまで本気なのかよく分かりません。

身近なところでは、千種区役所が本年度予算で「城山・覚王山地区の歴史的資産活用方策検討調査」事業を行うようです。できるだけ協力はする予定ですが、当社としては、できれば内閣官房と協働したいなと思います。

宗教・政治のお話しになってしまいまして、RCではタブーかもしれないが、昨今「政教連携」という言葉も見られるようになりました。行政に本殿をつくってもらおうとは思いませんが、そろそろ日本も宗教アレルギーから解放されてもいいのではないかなと思う次第です。

2018-2019 年度 地区研修・協議会 報告



日時 2018年4月15日(日)
会場 ホテルナゴヤキャッスル
ホストクラブ 名古屋昭和ロータリークラブ



◆次年度会場設営委員長 林 永芳 君



地区研修・協議会は4月15日、ホテルナゴヤキャッスルにて、名古屋昭和ロータリークラブのホストで開催されました。参加者はパストガバナー7名を含む1745名でありました。

今年の本会議はガバナーエレクトの村井総一郎氏の点鐘から始まり、ガバナーの神野さんの報告に続き、ガバナーエレクトの村井氏から次年度の地区方針をのべられました。次年度の国際ロータリーの会長はバハマのバリー・ラシン氏が務められます。テーマは「Be the inspiration」インスピレーションになろう。村井氏はその「インスピレーション」のもたらすものこそ、「変化をもたらす」という本年度の方針に続くものとおっしゃっておりました。そして、2670地区の方針を「あなたの街でロータリーを、あなたの街からロータリーを」という方針を掲げられています。今年の研修は初めての方法で、一部、二部に分けられ、第一、第二部とも、7つの分科会に分かれ、各役割に応じて研修会がすすめられました。特別公演は東京飛日野ロータリークラブ水野功氏の講演がありまして、私は分科会も水野氏で、第一、第二分科会ともに水野氏のお話を聞きました。第一分科会では「ロータリーの理念」をわかりやすくお話しされ、奉仕の解釈を良いことと解釈され、わかりにくい理念をわかりやすく解説されました。第二部は「これからのロータリー」ということをお話しされ、クラブの今後のありかたなどをのべられましたが、世界のロータリーは数の上では増えておらず、これからはクラブのありかたを、工夫する必要性をのべておられました。特に女性の会員に関する意識や、若年層の会員の意識の違いなどは、これからのロータリーのありかたには深く考えて、変わってゆく必要があることを踏まえ、各ロータリークラブでその対応が急がれる現状をのべられました。本会議のまとめは村井氏のまとめとホストクラブの昭和ロータリーの会長のご挨拶があり、点鐘をならされ終わりましたが、全体の会議を通して、感じたことは、各クラブがほりこりをもって運営し、誇りを持って世界に奉仕してゆくことが大事だということとその講演の言葉などから、感じる地区研修・協議会でした。

◆次年度国際奉仕・財団委員長 渡邊 源市 君



A 第6分科会 ロータリー財団委員会 構成(5部門)

- 1 資金収受、運用管理部門
(1) 資金管理委員会、
(2) 資金推進委員会
- 2 事業実施部門
(3) 補助金委員会
(地区補助金、グローバル補助金)
- (4) ポリオプラス+VIT(職業研修)委員会
- (5) 奨学基金・平和フェロシップ委員会

次年度寄付目標

- ・ポリオプラス寄金一人あたり30ドル(必達)
昨年実績一人あたり14ドル
- ・年次寄金 一人あたり150ドル
- ・恒久寄金 各クラブ1名以上
- ・RCカード(お礼、ギフト入(利用学の0.3%還元))
- ・メジャードナー:地区5名以上

参考:地区補助金事業 申請締切毎年度3月末、
次年度2月までに事業実施終了

B 第4分科会 国際奉仕委員会

1 グローバル補助金事業実施勲奨

- (1) ロータリー財団が推奨
- (2) 300~1900万円の事業
- (3) クラブの費用負担低い
- (4) 実施事例(内容:支援国:実施RC):
医療インフラ提供:ネパール:国際奉仕委員会
小学校、幼稚園建設:ラオス:(北RC 東山RC)
実のなる木の植樹:ラオス 手術器具提供、医療教育、
保健師養成:ネパール:国際奉仕委員会
給水施設、井戸設置(WFF利用):カンボジア:
国際奉仕委員会
その他、バングラデシュ:名東RC 名駅RC、
タイ:刈谷RC、豊橋RC、大須RCなど

◆次年度会員増強委員長 福井 浩道 君



第7分科会 会員増強について

例年配布している会員増強ガイドについて、従来提唱されている「入会への魅力を高め動機づけする」及び「会員の積極的参加を促し流出を防ぐ」という項目に加えて、「クラブの現状を評価」して強みと弱みを知ること、「クラブのビジョンを描く」ことで中長期を見通した増強活動、「新クラブのスポンサーとなる」、「クラブへのサポート・リソースとツール」が追加されました。各クラブが自身を見つめなおしてどこを目指すのかを再構築することでより魅力的なクラブへと進化することや、その活動を広く周知することで増強に繋げるものであると理解しました。このほかには女性会員の増強と若い会員の増強が活性化するためにかかせない課題である旨発表されました。

その後、同等規模のクラブ同士で問題点や改善点を議論する機会が設けられ情報交換を行い、ここでも女性会員

の増強と若い会員の増強について切実かつ効果的なテーマであることが共通認識となりました。各クラブの議論では時間が不足して、現状問題の共有までで終わってしまったことが悔やまれました。

❖次年度幹事

太田 和孝 君



私は、第1部に第一分科会 特別講演、第2部に第二分科会 クラブ運営部門「クラブからロータリーについて発信しよう」というテーマの分科会に参加いたしました。

特別講演におきまして、第2ゾーン ロータリーコーディネータ補佐 2750 地区パストガバナー水野功様から「ロータリーを楽しみ、会員基盤を強化しましょう！その1」と言うテーマの講演では、長年のロータリー活動を通じての大変深いお話を頂きました。

中でも非常に印象深かったお話と致しまして、ロータリーを支えているものはサービスとフェロウシップであり、サービスの心を共有する仲間の存在が非常に大切であり、そうした仲間を如何に増やしていくことが会員基盤の強化につながる一要因であるとお話で、同じ心を持つ仲間を増やす会員増強がクラブを強く活性化するものである感じました。

又、ロータリーには 1、変化してよい物、2、変化しなければいけない物、3、変化してはいけない物があるが、サービスの心を持った仲間を持つことは不変的なことであると言うお話から、そうした仲間を如何に増やす事に必要性を重ねて強く感じました。

第二分科会におきましては、・会員増強・危機管理と個人情報の取り扱いについて・地区予算と地区資金について・次年度と地区資金について・次年度ワールドフードフェスタについて・クラブの研修についてという5つのテーマでご報告を頂きました。

会員増強で一番大切なメンタル面として自分自身がロータリークラブは楽しいか、楽しくなければ入会に誘えるはずが無いという基本的な部分が足りていない事に気付かされました。又これからは女性がキーワードと言うことで、女性会員の増強にも力を入れるべきとお話を頂きました。現在、RIの女性会員の比率は20%超であるが、日本においては5%台、2760地区においては4%台と、まだまだ改善の余地があるとの事でした。又危機管理の視点のお話としまして、昨今、ロータリアン周辺でトラブルに巻き込まれる事例が発生しているそうで、「退会したロータリアンの奥様にお金を貸借した金銭トラブル」があったとの事です。又、SNSの普及により、ネット上に一般の参加者の写った写真を使用する上で、個人情報保護のトラブル回避の為に、事前に同意を頂いておく重要性を説かれ、会員のみならず一般参加者が参加される事業を募る際にも、参加応募時に写真掲載同意を頂いておく必要がある事をご指示頂きました。掻い摘んで報告は以上です。

❖次年度会長

鈴木 聖三 君



第一分科会第2部の報告をします。

▽会員増強について

①クラブが楽しいこと

②退会届を減らすこと

③1年先を育てるなら花を植えろ

10年先を育てるなら木を植えろ

100年先を育てるなら人を育てろ

④動き出したら少しのエネルギーで回っていくから良い

⑤会員増強委員長を2年そして3年担当する

▽女性会員について

女性会員の割合はRIでは20%、日本では5%、2760地区全体では4%、国内の社長は8%で 環境に適應したものが残り強い者が残るのではない

▽6月は退会者が多いので声をかけあいましょう。

この花は今咲いたのではありません。土を耕し、水をやり種子を植える。今の会員ではなく後輩が楽しめる会の運営を計っていく。

▽ロータリーを支えているもの

サービスとフェロウシップです。

変化してはいけないものはサービスの心を忘れない事。良い仲間を持つ事。変化する必要があることとして女性の入会をすすめる。

4月理事役員会 議事録

4月17日

【審議報告事項】

- 1) 名古屋市内 25RC 社会奉仕委員会事業提案申請
(継続審議事項)
支援団体：NPO 法人東山動物園くらぶ
上記団体が開催予定の「東山こどもガイド 2018」において利用する音響機器及び、スタッフジャンパーの提供(予算額 50万円)で申請
- 2) ロータリー雑誌(ロータリーの友・ガバナー月信)の購読アンケートについて
会長提案：ロータリーの友およびガバナー月信について、毎月どのくらいの会員が熟読しているのかどうかアンケートを取りたい/5月の例会時にアンケート
- 3) 今年度決算予定
- 4) 名古屋市内 25RC 社会奉仕事業 桜の回廊プロジェクト決算報告について
- 5) 会長エレクトより3月3日開催会長エレクトセミナー(PETS)報告/次年度、各事業、分区内交流事業、ポリオ例会について 次年度各負担金について

*ニコボックスは次回掲載させていただきます

次回例会 平成30年5月15日(火) 12:30 3階 錦の間
卓話：「職業奉仕の今昔」 地区研修実行委員長 早川 和男 様(東山RC)